

豊かな藻場と磯根資源を見守る

1. 内容

沿岸の岩礁域のことを磯根、そしてアワビやサザエ、イセエビなど、磯根で漁獲される魚介類を磯根資源といいます。近年、台風などによる豪雨で、河川から海に大量の濁り水と土砂が流れ込むことが多く見られ、磯根資源に悪影響を及ぼすことが心配されています。

相模湾試験場では、アワビなどの磯根資源の調査と、生息の場、餌場である磯根のカジメの藻場の状況を調査しています。

右図はカジメの藻場。
カジメはコンブの仲間で、アワビの餌として重要な海藻です。
小田原市周辺では、水深20m前後の深い場所まで、豊かな藻場が見られます。



2. こんなふうに関立っています。

土砂が流れ込むと、海水が濁って太陽光が海底に届かなくなったり、藻場に積もったりして、カジメが育たなくなる心配があります。藻場を継続的に調べることで、その影響が分かるようになります。

生まれたばかりのアワビの浮遊幼生や稚貝を見つけることができました。出現する場所と時期を調べて、どのように漁場を守ったり、人工的に稚貝を放流(種苗放流といいます。)すればよいのか等、アワビを守り増やす方法を検討しております。

